

## 【FdData 中間期末：中学社会地理】

### 【通信】

#### 【問題】(2 学期中間)

次の文の①～④に適語を入れよ。

国際電話や、パソコンを使った( ① )の普及によって、世界との情報交換が簡単にできるようになった。大陸をこえた通信は( ② )ケーブルや( ③ )によって支えられている。日本人 1 人あたり約 1 台を持っているという移動可能な通信手段である( ④ )や、(①)によって日本の通信網はいちじるしく発達した。

【解答】① インターネット ② 海底

③ 通信衛星 ④ 携帯電話

#### 【解説】

国際電話の回線かいせんは昔は通信衛星つうしんえいせいを利用するものがほとんどであったが、各国間で海底ケーブルが布設ふせつされたため、主要な通信は海底ケーブルに移行してきた。

1990 年代からパソコンを使ったインターネットが普及し始め、それにともなって通信量も大幅に増大した。通信ケーブルも、銅線を使ったものから、1本の光ケーブルで数万から数十万の通話が

可能である光ケーブルに変わった。

また、近年、携帯電話が急速に普及して、固定電話数を上回り、2013年現在1億4105万台と、1人に1台以上の割合になっている。

[問題](1 学期期末)

国際間の通信手段として、急速にその利用が増えているのは(通信衛星/海底ケーブル)である。

[解答]海底ケーブル

[問題](1 学期中間)

コンピューターの利用で、国際間の情報交換ができるようになった世界的規模の通信網を何というか。

[解答]インターネット

[問題](2 学期期末)

情報網に関して、次の各問いに答えよ。

(1) インターネットを利用することができる身近な機器を1つ答えよ。

(2) 情報網の整備による影響について述べたア～ウのうち、明らかに間違っているものを1つ選べ。

ア メールによる情報のやりとりがさかんになることで、素早く情報交換を行うことができる。

イ インターネットショッピング等を楽しむこともでき、自宅にいながらさまざまな買い物を行うことができる。

ウ 日本の情報はすぐに手に入れることができるものの、海外の情報はいまだに手に入れることが難しい。

[解答](1) パソコン(携帯電話) (2) ウ

◆社会地理の各ファイルへのリンク

<http://www.fdtype.com/dp/sc3/index.html>

◆FdData 中間期末の特徴(QandA 方式)

[http://www.fdtype.com/dp/qanda\\_k.html](http://www.fdtype.com/dp/qanda_k.html)

◆製品版(パソコン Word 文書：印刷・編集用)  
の価格・購入方法

<http://www.fdtype.com/dp/seihin.html>

※ iPhone でリンク先が開かない場合は、  
「iBooks」を開いてリンクをタップください。

【Fd 教材開発】 Mail : [info2@fdtype.com](mailto:info2@fdtype.com)